

問1 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

1. めばな 2. どちらの花にもある 3. つぼみ 4. おばな

問2 花のつくりの中で、先にあるふくろからたくさんの花粉を出す部分はどれですか。

1. おしべ 2. めしべ 3. 花びら 4. がく

問3 花のつくりのうち、おしべだけがある花のことを何とよびますか。

1. おばな 2. めばな 3. つぼみ 4. がく

問4 おしべの先についているものの特 徴として、正しいものはどれですか。

1. 白い花粉がたくさんついていて、さらさらしている。 2. 白い花粉がたくさんついていて、ねばねばしている。 3. 黄色い花粉がたくさんついていて、さらさらしている。 4. 黄色い花粉がたくさんついていて、ねばねばしている。

問5 花が咲いたあとに受粉しなかった場合、その花はどうなりますか。

1. 実だけができて、種子はできない。 2. 実も種子もできない。 3. 実も種子も両方できる。 4. 種子だけができて、実はできない。

問6 花のつくりの一つで、その先には花粉という粉のようなものがついている部分を何といいますか。

1. めしべ 2. おしべ 3. がく 4. 花びら

問7 接眼レンズの倍率が10倍で、対物レンズの倍率が40倍のとき、顕微鏡の全体の倍率は何倍になりますか。

1. 30倍 2. 50倍 3. 400倍 4. 4倍

問8 めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、成長すると何になりますか。

1. 実 2. たね 3. 葉 4. 茎

問9 1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにもどのような植物がありますか。

1. アブラナやユリ 2. 根や茎がない植物 3. 花を咲かせない植物 4. めしべとおしべが絶対に受粉しない植物

問10 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特 徴がありますか。

1. おしべだけがある。 2. たねから最初に育つ。 3. 花びらがない。 4. めしべがある。

問11 おしべとめしべが1つの花の中にある特 徴をもつ植物はどれですか。

1. アブラナの花 2. カボチャの花 3. ヘチマの花 4. トウモロコシの花

問12 花の咲く植物が生命をつなぐとき、種子ができてから次の新しい種子ができるまでの正しい順序はどれですか。

1. 「発芽して成長する」→「花が咲いて受粉する」→「実の中に新しい種子ができる」 2. 「花が咲いて受粉する」→「発芽して成長する」→「実の中に新しい種子ができる」 3. 「実の中に新しい種子ができる」→「花が咲いて受粉する」→「発芽して成長する」 4. 「発芽して成長する」→「実の中に新しい種子ができる」→「花が咲いて受粉する」

問13 おばなという花には、どのような特 徴がありますか。

1. おしべだけがあって、めしべがない。 2. めしべだけがあって、おしべがない。 3. おしべとめしべの両方がある。 4. おしべもめしべもどちらもない。

問14 花が咲いたあとに、実や種子ができるために必要なことは何ですか。

1. 葉が大きくなること 2. 花びらが増えること 3. 受粉すること 4. 茎がのびること

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問2	答え 1 おしべ	おしべの先には花粉の入ったふくろがあり、花粉はおしべでつくられます。
問3	答え 1 おばな	おしべだけがある花のことを「おばな」とよびます。
問4	答え 3 黄色い花粉がたくさんついていて、さらさらしている。	おしべの先には黄色い花粉がたくさんついており、手ざわりはさらさらしているのが特徴です。
問5	答え 2 実も種子もできない。	受粉しないと、実はできず、種子もできません。実や種子ができるためには受粉が必要です。
問6	答え 2 おしべ	花のつくりの一つで、先に花粉という粉のようなものがついている部分をおしべといいます。
問7	答え 3 400倍	全体の倍率は「接眼レンズの倍率（10倍）」に「対物レンズの倍率（40倍）」をかけ算するため、 10×40 で400倍になります。
問8	答え 1 実	めばなのもとの方のふくらんでいる部分は、やがて実になります。
問9	答え 1 アブラナやユリ	1つの花にめしべとおしべが両方そろっている植物には、アサガオのほかにアブラナやユリなどがあります。
問10	答え 4 めしべがある。	めばなは、ヘチマなどの植物でめしべがある花のことです。
問11	答え 1 アブラナの花	アブラナの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問12	答え 1 「発芽して成長する」→「花が咲いて受粉する」→「実の中に新しい種子ができる」	植物は、種子が発芽して成長したあとに花が咲いて受粉し、その後に実の中に新しい種子ができるという順番で生命をつなぎます。
問13	答え 1 おしべだけがあって、めしべがない。	おばなは、おしべだけがある花のことなので、めしべはありません。
問14	答え 3 受粉すること	花が咲いたあとに受粉すると、実や種子ができます。受粉しないと、実や種子はできません。